

陽光ホームの指定管理予定者の選定結果について

1 概要

(1) 施設概要

名称：陽光ホーム

所在地：川崎市中原区井田3丁目16番1号

施設内容：

陽光ホーム

(1) 共同生活援助（グループホーム）

障害者総合支援法第5条第17項の規定に基づき、障害者につき、主として夜間において、共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。

(2) 地域生活体験事業

川崎市総合リハビリテーションセンター及び障害者福祉施設条例第128条第4号に基づき、長期の入院及び入所から地域生活を希望する障害者につき、共同生活を営むべき住居において体験的な利用を実施し、地域生活移行のための支援を行う。

※ ただし、障害者総合支援法は、令和6年4月1日施行の内容による。今後法令改正等により業務内容に変更が生じた場合には、別途協議する。

(2) 指定期間

令和6年4月1日～令和11年3月31日

(3) 指定管理予定者の概要

社会福祉法人育桜福祉会

所在地：川崎市中原区西加瀬10番3号

主な業務内容：

(1) 桜の風指定管理者（第1種社会福祉事業）

(2) 陽光ホーム指定管理者（第2種社会福祉事業）

(3) 北部身体障害者福祉会館・わーくす高津指定管理者（第2種社会福祉福祉事業）

(4) その他第2種社会福祉事業（障害福祉サービス事業、相談支援事業）

の経営

2 選定の経緯

令和5年 5月16日 募集要項

令和5年 6月16日 募集締め切り

令和5年 7月19日 民間活用事業者選定委員会

令和5年 8月10日 指定管理予定者を決定

3 応募状況

応募団体：1団体（育桜福祉会）

4 指定管理者選定評価委員会委員

- 【学識経験者】 赤塚 光子 （元立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- 【学識経験者】 隆島 研吾 （神奈川県立保健福祉大学名誉教授）
- 【学識経験者】 村井 祐一 （田園調布学園大学人間福祉学部学部長）
- 【学識経験者】 柳田 正明 （山梨県立大学人間福祉学部教授）
- 【財務の専門家】 内野 恵美 （公認会計士）

5 選定理由

次期指定管理業務に関して仕様書に沿った提案がなされており、事業や収支の計画も妥当と言える。また、これまでの運営状況も良好であり、今までどおり安定した施設運営が見込まれること等を評価し、当該団体を選定した。

(1) 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

入所施設から地域生活への移行を希望する障害者の支援を行い、障害者等の福祉を増進するなどの当該施設の目的を十分に理解し、また今までの運営実績を生かしたかたちで、施設の管理運営に係る適切な基本方針や事業計画等について具体的な提案がなされていた。

(2) 施設機能の発揮と管理経費の縮減

効率的な施設運営に対する考え方・方針が明確に示されており、事業計画と整合がとれた収支計画となっている点などを評価した。

(3) 事業の安定性及び継続性の確保への取組

提案された職員体制が充実していること、職員の確保策や職員の資質向上に向けた取組が具体的であることなどを評価した。

(4) 応募団体自身に関する項目

当該施設に加えて類似施設の運営実績が豊富であり、運営実績を踏まえた提案がなされ、安定した施設の管理運営が見込まれることを評価した。

(5) 応募団体の取組に関する事項

個人情報保護等の規定も整備されており、職員研修の実施などの具体的な取組の提案がされていたことを評価した。

(6) その他の事項

特別支援学校生徒の施設見学会や地域生活支援SOSかわさき事業といった地域における公益的活動に関する提案等を評価した。

6 審査結果（※基準点480点以上）

選定基準	配点	育桜福祉会
① 施設の設置目的の達成とサービスの向上	280点	202点
② 施設機能の発揮と管理経費の縮減	220点	148点
③事業の安定性及び継続性の確保への取組み	160点	108点

③ 応募団体自身に関する項目	80点	61点
④ 応募団体の取組に関する事項	60点	40点
基準評価合計	800点	559点
加點評価	40点	8点
実績評価		42点
総計	840点	609点

7 指定管理予定者として選定された団体の主な提案内容

項目	事業内容
障害者支援に対する考え方、方向性、取組	(1) 丁寧なアセスメントに基づく個別の支援 (2) 健康への配慮と必要な医療等との連携 (3) 悩みや不安に寄り添う丁寧なコミュニケーション (4) 情報共有と統一された支援の実践 (5) 安心して安全な生活環境の整備
施設運営計画（提供するサービスの考え方、日課等）	(1) 入居者それぞれの想いに沿った生活支援 (2) 充実した日常生活への支援 (3) 健康や安全に配慮した安心した生活のための支援 (4) これからの生活に関する相談と支援
他機関等との連携についての考え方	(1) 入居者の支援に関する関係機関等との連携 (2) 地域生活体験事業の希望者受け入れ
課題の把握及び重点的な取組についての考え方	(1) 地域生活体験事業の受入れの促進 (2) 段階的な地域移行を目指す中間施設としての機能の充実 (3) 適正な運営管理体制の確保 (4) 危機対応・防災対策の推進
上乗せ提案	【上乗せ提案】 ア 桜の風との一体的連携体制の確保 桜の風共同事業体の代表法人である育桜福祉会が運営するグループホームとして、桜の風と隣接する立地環境を活かし、一体的な連携体制を確保する。 イ 地域生活体験事業の有効活用 利用者が、段階的に体験を進めたり部分的（場面的）体験により地域生活のイメージ作りやアセスメント情報を整理する機会となるよう連携し取り組む。等

8 提案額

年 額 7, 280, 000円（1年間）
指定期間計 36, 400, 000円（5年間）

（ 川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害者施設指導課 施設調整担当
Tel 044-200-0874 Fax 044-200-3932 ）